

⑤志賀重昂

☆小学校五年 一学期実施

主題 郷土岡崎のために

C(17) 郷土愛

一 醸成したいおかざきの心

世界中を巡り、広めた見聞から、郷土のすばらしさを説いた岡崎の先人から学ぶ、郷土愛

二 教材 「三河男児の歌」

『岡崎市現職研修委員会道徳部自作資料』

たかしは、東公園に遊びに行ったときに、志賀重昂の銅像と三河男児の碑を見つけ、銅像と歌碑は何か、とお父さんに尋ねます。世界を巡り、日本の自然のすばらしさを説いた重昂の功績や、郷土の人々を元気づけようとして書いた「三河男児の歌」の内容を説明してもらったたかしは、当時の人々の苦労や、重昂の行動に思いをめぐらせていきます。

三 本時のねらい

- (1) 世界中を旅した重昂が、郷土の自然や先人の功績に誇りをもち、岡崎の人たちを元気づけようとした思いに気付かせる。
- (2) 先人の思いにふれ、岡崎市民としての誇りをもって生活し、大切にしようとする心情を養う。

四 発問例

発問① 「三河や岡崎の好きなおところは、どんなところですか。」

・花火が有名 ・南公園や東公園がある ・自然が多い ・八丁味噌がある

発問② 「重昂は、どんな思いで三河男児の歌を書いたのでしょうか。」

・岡崎の人たちが辛い思いをしているから応援したい
・岡崎にはいいところがたくさんあるから諦めないでほしい

補助発問 「岡崎の人が困っているとき、重昂が手助けしたのはどんな思いからでしょう。」

・岡崎が好きで岡崎の人も好きだから助けたい ・岡崎から立派な人がたくさん出て、岡崎を盛り上げてほしい ・岡崎の物も人も大切だから

発問③ 「今も、岡崎の街をながめている重昂は、どんなことを考えているでしょう。」

・私が大切にした岡崎をこれからも大切にしてほしい ・今は、岡崎の人たちが幸せそうであった ・岡崎がもっと発展してほしい

(自覚) 「重昂さんがこの学校に来たら、みんなはどんな言葉かけますか。」

・重昂さんのおかげで岡崎はよい町になりましたよ。ありがとうございます。
・重昂さんのように仲良く助け合って岡崎を大切にしていきます。